Ikegami

COMPANY PROFILE

会社案内

ご挨拶

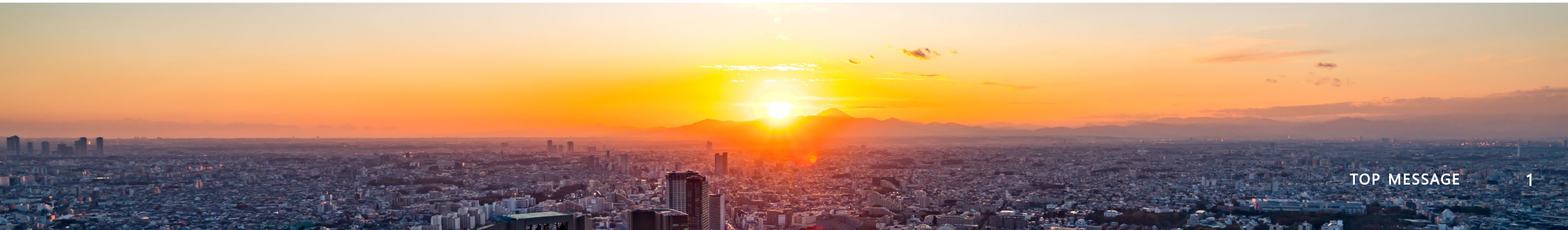
時代の変化をチャンスと捉え、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

池上通信機株式会社
代表取締役社長　清森 洋祐

当社グループは、1946年の創業以来、「技術の向上、開発へのたゆまざる意欲と不屈の精神を支えとし使って喜ばれる製品を作り出し、世の中に寄与してゆく。その実現に向け、常に努力し、責任を以て事に当たる社員を育てる。そうすることで、世の中で真に存在価値ある会社・常に世間から愛される会社を創る。」という創業理念のもと、放送、メディカル、セキュリティー、検査の4つの事業を展開し、多様な価値観を持つお客様の声に応え続けることで世の中のお役に立ち、社会に貢献してまいりました。

当社グループを取り巻く事業環境は、気候変動による環境への影響や、コロナ禍による生活様式の変化、地政学的リスクなどにより、これまでにない大きな変化を向かえています。こうした変化を的確に捉え、迅速に、そして積極果敢に挑戦し、AIやDXなどデジタルイノベーションへの取り組みを加速することはもちろん、当社グループの人財である従業員が最大限の力を発揮できる環境の整備も進めてまいります。

今後も多様化する時代の変化を大きなチャンスと捉え、当社グループは、これからも技術のコアとなるIP&T(IMAGE：撮像、PROCESS：画像処理、TRANSMISSION：伝送）をベースに今後の事業展開に不可欠なIT技術等の新たな技術の更なる研鑽に努め、グループ一体となって、お客様の夢や希望を形にし、持続的な企業価値の向上を目指してまいります。また、こうした企業活動を通じて環境（ENVIRONMENT）、社会（SOCIAL）、ガバナンス（GOVERNANCE）の3つの要素、いわゆるESGに配慮した活動にも積極的に取り組むことで、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。



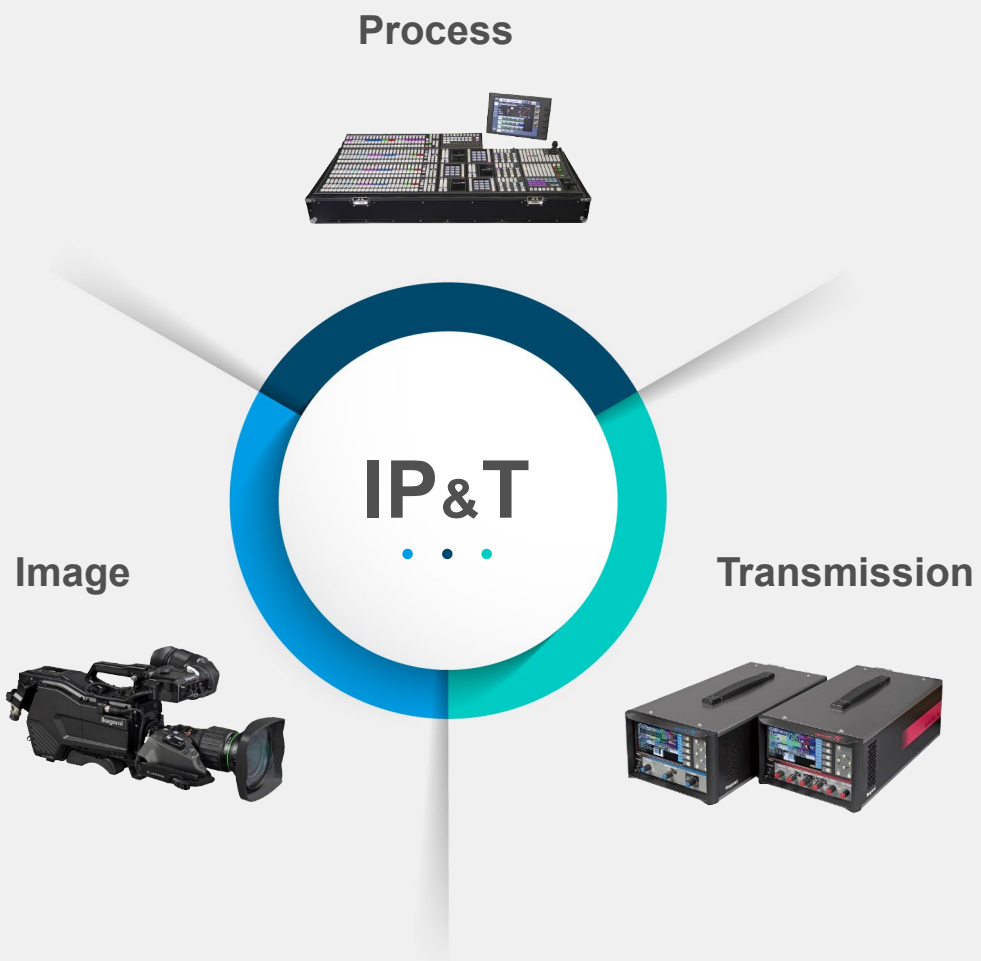
「技術」のチカラで、
あなたをしあわせに。

卓越した技術と匠の技で社会が求める新たな価値を創造し、
持続可能な社会インフラ構築の一翼を担い、
広く世の中に貢献し、
社会から必要とされる企業であり続ける。

これがIkegamiのパーパス（社会に存在する意義）です。

映像技術で社会課題を解決。
サステナブルな未来に。

社会基盤やビジネス環境を支える映像技術は絶え間なく高度化し続け、
その活用範囲を広げています。
常に最先端のテクノロジーを追求し、お客様の様々なご要望に
応え続けてきたIkegamiのそのコアはIP&T（IMAGE：撮像、
PROCESS：画像処理、TRANSMISSION：伝送）と考えています。
私たちは意思決定・判断の基軸となる価値観を「顧客満足」に置き、
社会が抱える課題はお客様が抱える課題の源泉であると考え、
核となる「IP&T技術」と関連技術とを融合し、
機能・性能を具現化することがソリューションに繋がる道であると考えます。
「夢を形にする企業であり続ける。」
それが「映像技術のプロ」であり続ける私たちの信念です。



4つの事業分野で、
社会貢献。

Ikegamiは、

プロに貢献するプロとして、

ＣＳの限りなき追求による社会ニーズの先取りとその具現化を目指し、

品質・信頼性への拘りと最先端テクノロジーを磨き続け、新しい価値を創造し、

かつ、安心・安全で環境保全にも配慮した持続可能な社会の実現に向けて、

技術開発に限りなく挑戦し技術で社会への貢献を目指します。

ソリューションを行う４つの事業を展開し

「お客様が満足する製品やサービス」を提供していきます。

池上通信機株式会社は、情報通信と画像のプロフェッショナルとして、
世界が直面するさまざまな課題と真摯に向き合い、事業活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献しています。

ESGの具体的取り組みとSDGs目標

	事業活動	製品	SDGs目標
環境 — Environment	・ISO14001環境マネジメントシステム導入 ・温室効果ガス（CO2）排出量の削減 ・太陽光発電設備の導入 ・コピー紙使用量の削減 ・高効率の空調機導入 ・照明のLED化 ・藤沢メダカの保護活動 ・RoHS指令適合管理	・触媒などに使われるハニカム構造体検査装置の開発・販売 ・環境配慮型製品の開発・販売	7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに 12 つくる責任 つかう責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう
社会 — Social	・CSR調達ガイドラインによる人権、環境、公正取引等への対応 ・個人情報の保護・管理 ・ダイバーシティやワークライフバランスの推進	・医療用カメラ・モニタの開発・販売 ・錠剤検査装置の開発・販売 ・上下水道プラント管理システムの開発・販売 ・交通系・防災系監視システムの開発・販売 ・河川監視システムの開発・販売 ・産官学連携等の共同研究への参画	3 すべての人に健康と福祉を 5 ジェンダー平等を実現しよう 6 安全な水とトイレを世界中に 8 働きがいも経済成長も 11 住み続けられるまちづくりを 17 パートナーシップで目標を達成しよう
ガバナンス — Governance	・積極的な情報開示 ・取締役会の多様性 ・RC委員会や内部監査室の設置		9 産業と技術革新の基盤をつくろう 16 平和と公正をすべての人に

プロダクトセンター(栃木県宇都宮市)の太陽光発電設備

産官学連携等の共同研究への参画

放送

常に求められる最新技術を世界へ

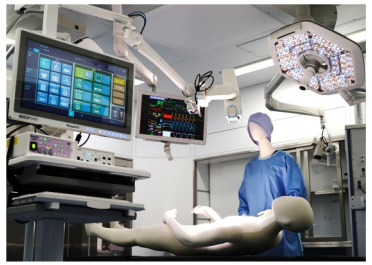
日本のみならず世界中の放送局で活躍するIkegamiブランド。
放送局にとってなくてはならないメーカーとして、常に最新技術を駆使した製品の開発に力を注いでいます。
これからも、お客様のご要望に応えるため、最新技術を駆使したソリューションを提案していきます。

セキュリティ

安全・安心のためのシステムを提供する

状況を「見る」ことだけに活用されていた監視カメラは、記録、システム化、ネットワーク化へと変遷。
画質の向上とともに、各種センサや画像処理技術と連動させ、多様なニーズにSI力で応える時代を迎えました。セキュリティに係る広範な技術動向を集約し、提案していきます。

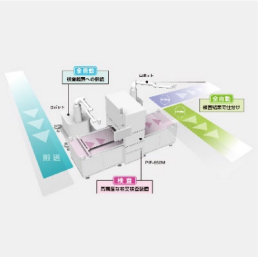
メディカル

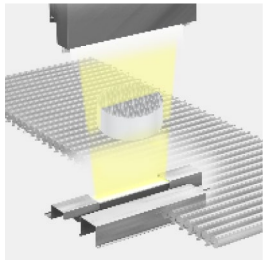


医療現場の実績こそ信頼の証

国内トップのシェアを誇る手術顕微鏡用カメラをはじめ、オペ室の術野カメラシステムなどを展開。医療現場に求められる確かな性能とドクターの意向を形にした機能・運用スタイルで、実績を積み重ねました。今後は欧米・アジア地域での浸透を目指していきます。

検査/画像処理





常に高品質をお届けするために

外観検査装置の実績は、薬（錠剤、カプセル、顆粒）を始め、フィルム、金属箔、容器など多彩です。

本社
〒146-8567 東京都大田区池上5-6-16
TEL:03-5700-1111（大代） FAX:03-5700-1137

営業・マーケティング本部
〒146-8567 東京都大田区池上5-6-16
TEL:03-5748-2211（代） FAX:03-5748-2200

大阪支店
〒564-0052 大阪府吹田市広芝町9-6 第1江坂池上ビル
TEL:06-6389-4466（代） FAX:06-6389-4477

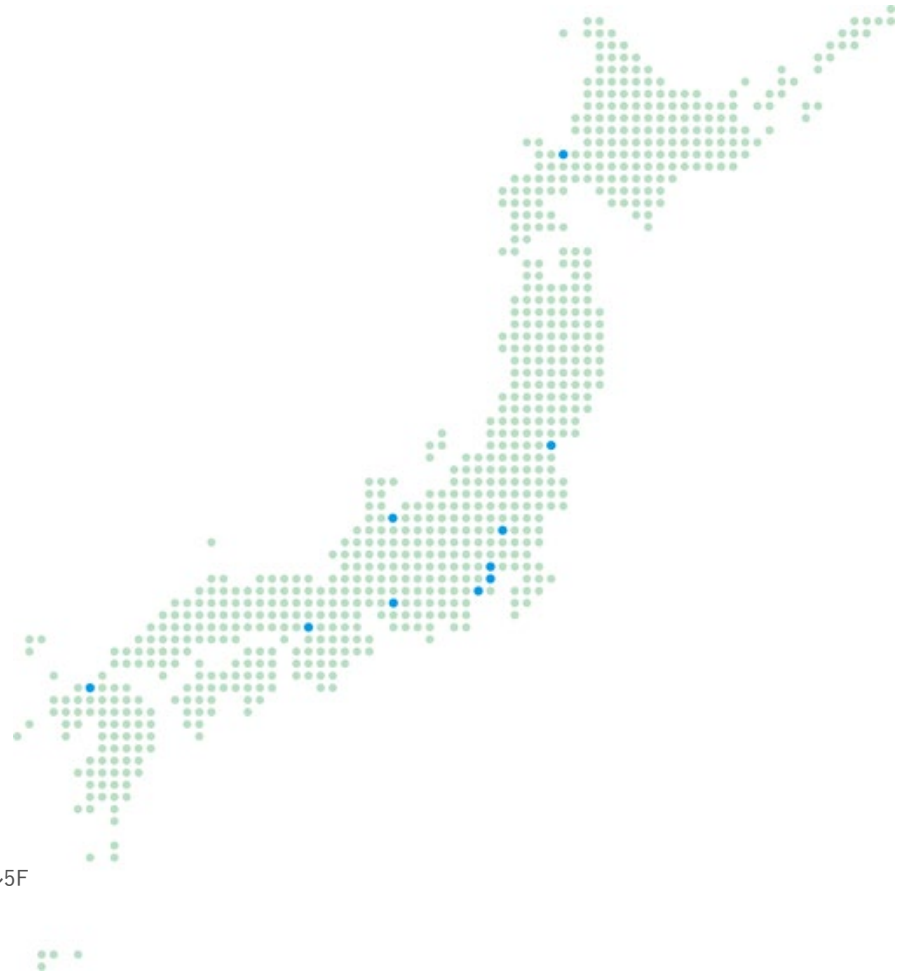
名古屋支店
〒465-0051 愛知県名古屋市名東区社が丘1-1506 加藤第2ビル
TEL:052-705-6521（代） FAX:052-705-6523

九州支店
〒812-0016 福岡県福岡市博多区博多駅南3-7-10 STビル4F
TEL:092-451-2521（代） FAX:092-473-9214

仙台営業所
〒983-0869 仙台市宮城野区鉄砲町西１番地の14
富士フイルム仙台ビル6F
TEL:022-292-2420（代） FAX:022-292-2423

札幌営業所
〒060-0031 北海道札幌市中央区北1条東2丁目5-2 札幌泉第2ビル5F
TEL:011-231-8218（代） FAX:011-271-7801

富山営業所
〒930-0004 富山県富山市桜橋通り3-1富山電気ビルディング本館2F
TEL:076-486-8148



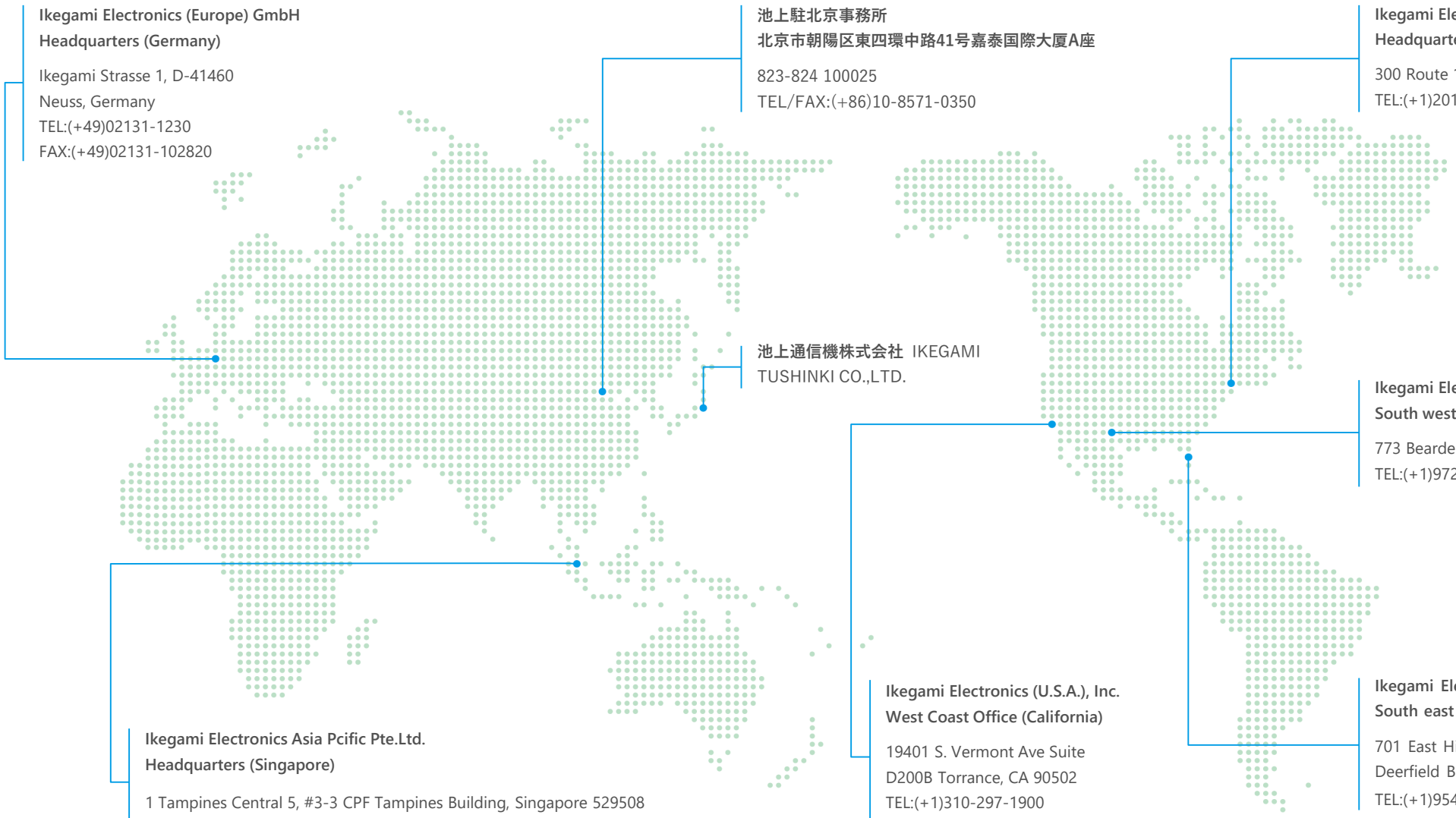
システムセンター
〒251-8513 神奈川県藤沢市小塚400
TEL:0466-24-8900（代） FAX:0466-24-8940

プロダクトセンター
〒321-0905 栃木県宇都宮市平出工業団地41-2
TEL:028-660-3313（代） FAX:028-613-2206

調達センター
〒210-0826 神奈川県川崎市川崎区塩浜4-13-15
TEL:044-388-8240（代） FAX:044-388-8239

関連会社
株式会社テクノイケガミ
〒210-0826 神奈川県川崎市川崎区塩浜4-13-15
TEL:044-270-5471（代） FAX:044-270-5493

GLOBAL NETWORK | グローバルネットワーク



Ikegami Electronics (Europe) GmbH
Headquarters (Germany)

Ikegami Strasse 1, D-41460
Neuss, Germany
TEL:(+49)02131-1230
FAX:(+49)02131-102820

池上駐北京事務所
北京市朝陽区東四環中路41号嘉泰国際大厦A座

823-824 100025
TEL/FAX:(+86)10-8571-0350

池上通信機株式会社 IKEGAMI TUSHINKI CO.,LTD.

Ikegami Electronics (U.S.A.), Inc.
Headquarters (New Jersey)

300 Route 17 South, Mahwah, NJ 07430, U.S.A.
TEL:(+1)201-368-9171 FAX:(+1)201-569-1626

Ikegami Electronics (U.S.A.), Inc.
South west Office(Texas)

773 Bearden Waxahachie, TX 75167 USA
TEL:(+1)972-869-2363 FAX:(+1)972-556-1057

Ikegami Electronics Asia Pcific Pte.Ltd.
Headquarters (Singapore)

1 Tampines Central 5, #3-3 CPF Tampines Building, Singapore 529508
TEL : (+65)6260-8820 FAX : (+65)6260-8896

Ikegami Electronics (U.S.A.), Inc.
West Coast Office (California)

19401 S. Vermont Ave Suite
D200B Torrance, CA 90502
TEL:(+1)310-297-1900
FAX:(+1)310-536-9550

Ikegami Electronics (U.S.A.), Inc.
South east Office(Florida)

701 East Hillsboro Boulevard Suite 100,
Deerfield Beach, FL 33441 USA
TEL:(+1)954-571-7177 FAX:(+1)954-571-7760

会社概要

商号	池上通信機株式会社 IKEGAMI TSUSHINKI CO., LTD.
従業員数	661名(連結818名) ※2024年3月末現在
創立	昭和23年2月21日 ※個人創業：昭和21年9月10日
主要製品	放送用カメラシステム、放送用モニタ、映像制作・送出システム、 映像伝送システム、中継車システム、 セキュリティカメラシステム、メディカルカメラシステム、 各種外観検査装置等
資本金	7,000百万円 ※2024年3月末
連結売上高	21,603百万円 ※2024年3月期

ISO 9001認証
JQA-0755
プロダクトセンター
システムセンター
調達センター
営業・マーケティング本部
テクノイケガミ

ISO 14001認証
JQA-EM3888
本社
プロダクトセンター
システムセンター

JIS Q 9100認証
JQA-AS0156
プロダクトセンター
調達センター
公共営業部
テクノイケガミPC技術部

海上自衛隊の航空機において使用する電子機器(HQHシリーズ)、及びそれらの付属機器の設計・開発、製造及び付帯サービス

ISO 13485認証
JQA-MD0133
プロダクトセンター
イメージプロセスソリューション営業部
調達センター
テクノイケガミPC技術部

顕微鏡付属品、ビデオモニタの
設計・開発、製造及び付帯サービス

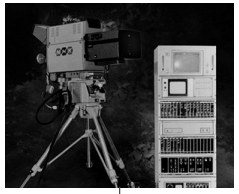
ISO 27001認証
ISR025-J0725

放送機器及びシステム等の営業業務
情報システム管理業務

ISO/IEC27001

取締役・監査役・執行役員（※2024年6月末現在）

代表取締役社長	清森 洋祐
常務取締役	青木 隆明
常務取締役	小島 睦
取締役	田村 公広
取締役	篠田 広司
取締役	北田 初夫
社外取締役	永井 研二
社外取締役	薄田 賢二
社外取締役	安田 明代
社外取締役	秋津 勝彦
常勤監査役	小原 信恒
社外監査役	渡辺 敏治
社外監査役	川口 潮
執行役員 統括技師長	大熊 正好
執行役員 プロダクトセンター長	津川 真一
執行役員 システムセンター長	秋山 正之
執行役員 社長室長	荒川 潤
執行役員 調達センター長	古川 清
執行役員 経営管理本部副本部長	山本 未恵



昭和21年（1946）
初代社長 斎藤 公正が東京都大田区堤方町913番地に「池上通信機材製作所」を創立。
トランス、チョークコイル、電源機器の製造を始める。

昭和23年（1948）
株式会社に組織変更。

昭和25年（1950）
周波数特性自動記録装置を開発。
セット機器1号機として日本のオーディオ界に貢献。

昭和26年（1951）
商号を「池上通信機株式会社」に変更。
テレビジョンスタジオ装置関連の製造・販売を開始。

昭和30年（1955）
自主開発製品の第1ステップとしてモノスコープカメラを開発。
受像機調整用装置として国内受像機メーカー全てに納入。

昭和36年（1961）
東証第二部へ株式を上場。

昭和37年（1962）
放送用小型テレビカメラ「ハンディルッキー」1号機を米国CBS様に納入。
人工衛星オーロラ7号の打ち上げ実況中継に使用される。

昭和39年（1964）
米国法人をニューヨークに設立。（昭和53年ニュージャージー州に移転）

昭和45年（1970）
西独駐在員事務所をデュッセルドルフに設立。（昭和53年ノイスに移転）

昭和46年（1971）
カラーカメラTK－301Aを開発。NHK様（全国配備）を始め民放各社に納入。
「カメラの池上」の基盤を確立。

昭和48年（1973）
医用カメラ（MK－309）を開発。
メディカルエレクトロニクス市場へ進出。

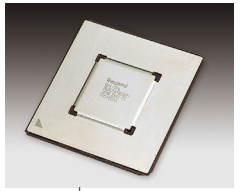
昭和53年（1978）
カラーハンディカメラ（HL－79A）を番組制作用（屋内・屋外）カメラの高級機として開発。

昭和56年（1981）
カラースタジオカメラの自動調整デジタルコンピュータの開発により、エミー賞受賞。

昭和58年（1983）
カラーカメラ（EC－35）の技術開発により、エミー賞受賞。

昭和59年（1984）
全国ネットワークシステム（日本中央競馬会様による全国的映像情報サービス網の構築）をニュースメディア時代の実証例として完成。

昭和61年（1986）
新型ヘリコプターテレビ中継システムを開発。
緊急報道（テレビ局）、災害時の救助活動（警察）に威力を発揮。
東証第一部に株式を上場。
光ケーブル・データ通信回線、コンピュータ技術等を駆使した



平成元年（1989）
3－Dカラーカメラシステム LK－33を開発。
高画質で人間の感覚に近い自然な立体映像撮影・表示を実現。

平成6年（1994）
「スキンディテール」と呼ばれる
「コントロール・エッジ・エンハンスメント技術」により
3度目のエミー賞を受賞。

平成7年（1995）
ハードディスク一体型放送用カメラレコーダEDITCAMを開発。
新しいコンセプトのポータブルメディアツールとして注目を集める。

平成12年（2000）
0.18 MM製造技術を採用し、最先端の放送用カメラASICを開発。
放送用カメラに搭載するのは世界初。

平成13年（2001）
汐留社屋の放送設備として日本テレビ放送網株式会社様より
HDTVカメラシステム計37式を大量受注。

平成14年（2002）
台湾高速鉄道(台湾新幹線)様向けCCTV(監視カメラ)システムを一括受注。

平成16年（2004）
パリ交通公社「RATP」様が運営する鉄道、路線バスなどの
交通網監視設備として監視カメラ3000台を大量受注。

平成19年（2007）
厳しい宇宙環境に耐えられるカメラを開発。
月周回衛星「かぐや(SELENE)」のハイビジョン動画撮影に成功。

平成22年（2010）
※米国AVID TECHNOLOGY, INC.との共同受賞

平成25年（2013）
「ポータブルテープレス記録機の開発と製品化」に対して、
4度目のエミー賞を受賞。

ドイツARRI社とのコラボレーションにより新コンセプトの
システムカメラHDK－97ARRIを開発。
IABM賞を受賞。

平成26年（2014）
シンガポールに現地法人
IKEGAMI ELECTRONICS ASIA PACIFIC PTE. LTD.を設立。

平成27年（2015）
世界初のハンディタイプ8Kスーパーハイビジョンカメラ SHK－810を
NHK様と共同開発。
世界初の8Kスーパーハイビジョン中継車を製作。

令和2年（2020）
4K／HDポータブルカメラシステム UHK－X700を開発
世界最速の処理量(70万錠／時)誇る
錠剤検査装置TIE－10000を開発

令和3年（2021）
創立75周年を迎える。

令和4年（2022）
東京証券取引所　スタンダード市場に移行